

令和4年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘中学校	校長	東 秀樹	生徒指導主事	河本 春彦
-----	--------------	----	------	--------	-------

取組事例名 『人間関係づくりトレーニング』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成	社会参画	自己実現
「協調性・柔軟性」 1	「多様性に対する適応力」 3	「課題発見・解決力」 2

取組のねらい

自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした、社会性（対人関係）に関するスキル、態度、価値観を身に着ける学習

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード 対人関係スキル』
----------	----------------------------

- 年間全7回（オリエンテーション1・活動5・振り返り1）
- オリエンテーション（1）
 - ・SSTをする目的と、年間予定の確認。
 - ・アンケート（昨年度2回行ったSel-8s）を基に作られた自己の変容グラフを参考に、自己達成目標を立てる。
- 活動（5）：年間計画に基づき、SSTを行う。

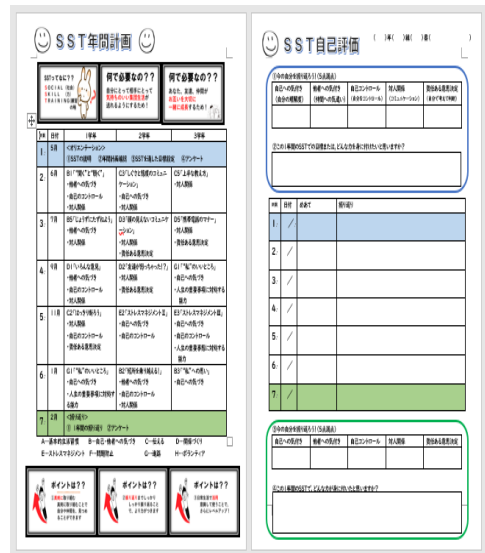
（例）2年生6月・「しぐさと態度のコミュニケーション」

 - ・自己への気づき ・対人関係
- ①本時のめあて、内容の説明。
 - ・ノンバーバル（非言語的）コミュニケーションを知る。
 - ・ノンバーバルコミュニケーションの具体例を考える。
- ②ノンバーバルコミュニケーションを体感する。
 - ・しぐさとジェスチャーで、伝言ゲームを行う。
 - ・体感した気づきや、伝わりやすくする方法を考える。
- ③ノンバーバルコミュニケーションと言語の両方を活用する
 - ・班でサイコロトークを行う。
 - ・話し手、聞き手ともにジェスチャーや表情に注目する。



④振り返り・まとめ

- 視覚的支援、見通しの持てる学習
- ・1年間、3年間を通しての予定を見える化し、活動への意欲を高める。
- ・振り返りを一枚にすることで、自己の変容を実感しやすい。



- 体験、体感できる活動
 - ・SSTを活用することで、コミュニケーションが円滑になることを体感する。
- 集団作りにつなげる
 - ・ペア、班、クラスなど多様な交わりの中で、学級集団・学年集団作りにつなげる。
 - ・SST 通信や掲示物など、学んだことを日常生活につなげる。

取組の成果と課題

【成果】年間での取組の中で、生徒個々のコミュニケーション能力や人間関係の力を高めることにより、「望ましい集団生活を送る力」を養うことができた。

【課題】SSTと学校生活、社会生活を更に結びつけるために、意識的に多様な人や機会とのつながりを作る。そのための取り組みであるSST通信や掲示を生徒主体で行うなど、より充実させる。